

平成30年 鴨川市10大ニュース（詳細）

順位	できごと（期日）	内 容
1	地方創生の推進拠点に 「里のMUJI みんなみの里」が 改装オープン（4月）	総合交流ターミナルみんなみの里が、「里のMUJI みんなみの里」としてリニューアルオープンしました。施設内では、指定管理者の（株）良品計画が運営する「無印良品」による生活用品、雑貨を販売。そのほか、同社のカフェレストラン「Café&Meal MUJI（カフェアンドミールムジ）」、農産物・物産品の販売所、開発工房などが並びます。市では、優れた経営ノウハウを持つ（株）良品計画とタッグを組み、またこれまでの指定管理者であった鴨川市農林業体験交流協会や鴨川観光プラットフォーム（株）とも連携した施設の運用体制を構築し、地域に役立つ賑わいにあふれる施設を目指していきます。
2	君津地域ごみ処理事業 鴨川市・南房総市・鋸南町の参入を 了承（11月）	鴨川市・南房総市・鋸南町の2市1町は、君津地域4市（木更津市・君津市・富津市・袖ケ浦市）が進める次期ごみ処理施設建設事業への参入を申し入れました。君津地域4市では、「4市で協議した結果、（2市1町を加えた）6市1町で事業を実施していく場合、スケールメリットがある」として、受け入れを了承しました。
3	市議会議員選挙 市民の代表18人が決定（5月）	市議会議員選挙が、5月27日に市内25か所の投票所で行われました。定数が20人から2人減の18人となった今回の市議会議員選挙。即日開票の結果、新人議員5人を含む18人の皆さんが選ばれました。当日の有権者数は2万8,244人、投票者数は1万7,983人で、投票率は63.67%（男63.99%、女63.38%）でした。なお、6月に行われた選挙後初の市議会定例会で、新しい議長に庄司朋代氏、副議長に佐久間章氏がそれぞれ選出されました。
4	来年4月に開校する統合小の校名 「天津小湊小学校」に決定（6月）	来年4月に開校する天津小湊地区統合小学校の校名が、「天津小湊小学校」に決まりました。天津小湊地区小学校統合準備委員会と市教育委員会では、市内に在住する方などから校名を募集し、寄せられた名称の検討を

		行った結果、最も応募数が多かったことや市民皆さんに親しまれている名称であることなどから「天津小湊小学校」を候補として選定。その後、市議会での議決により、校名が決定しました。
5	マニトワック市と 姉妹都市提携 25 周年 5 年振りに市民訪問団が来鴨 (10 月)	姉妹都市提携25周年を記念して、アメリカ・ウィスコンシン州マニトワック市から「市民訪問団」が5年振りに鴨川を訪れました。訪問団のメンバーは、ジャスティン・ニコルズ市長はじめ29人。10月18日に到着した一行は、記念式典に出席したほか、小湊小学校で子どもたちと交流したり、日本文化を体験したりして、交流を深めました。
6	市役所窓口で パスポートの申請・交付スタート (10 月)	千葉県から旅券事務の権限移譲を受け、鴨川市民の利便性の向上をはかるため、今年 10 月 1 日から、市民生活課の窓口でパスポート（旅券）の申請・受け取りができるようになりました。
7	千葉ロッテマリーンズ 秋季鴨川キャンプ 延べ 2 万 4,000 人の賑わい (10～11 月)	千葉ロッテマリーンズ秋季鴨川キャンプが総合運動施設で 10 月 31 日から 11 月 16 日までの日程で行われました。キャンプには、井口資仁監督をはじめ、選手やスタッフなど約 70 人が参加。足腰を鍛える強化トレーニングやピッチング、守備、バッティングなど厳しい練習に打ち込み、来シーズンの飛躍に向け汗を流していました。キャンプ期間中で約 2 万 4,000 人の市民やファンが見学を訪れ、賑わいを見せていました。
8	小湊地域の活性化と 学校跡地活用を考える 「100 人会議」 (3 月～11 月)	「小湊小・中学校の跡地活用を中心とした地域の活性化を考える 100 人会議」を開催しました。これは、天津小湊小学校との統合で、来年 3 月をもって廃校となる小湊小学校をはじめ、旧小湊中学校などの跡地活用について話し合うものです。会議には、無作為抽出された市民や、高校生、大学生、小湊地区の関係団体の方々などが参加。4つの分科会で議論が交わされました。
9	強い鴨川づくりに向けた 財政等適正化基本方針を策定 (8 月)	財政健全化に向けた取り組みの柱となる「強い鴨川づくりに向けた財政等適正化基本方針」を策定しました。これは、現在の市の厳しい財政状況を認識し、今後の財政収支を見通すとともに、目指すべき財政目標を定め、その実現に向けて財政の健全化に取り組む方針を定めた

		<p>ものです。今後、平成 35 年度までに、約 15 億円の一般財源負担を削減することを目標に、取り組みを計画的かつ着実に実施していきます。</p>
10	<p>旧大山小内にオープン 有料貸事務所「里山オフィス」 (4月)</p>	<p>4月1日に、旧大山小学校校舎を活用した「里山オフィス」がオープンしました。このオフィスは、地域を盛り上げるために活動する団体などの集積やその活動を支援することにより、地域活性化や移住・定住の促進を図るために設置したものです。施設内には、有料の貸し事務所8室のほか、利用者が共同で利用できる多目的室や印刷室を備えています。入居団体がそれぞれ活動を行うことや、利用者同士が交流することで、新たな地域活性化につながることも期待されます。</p>